

防災学習事例 ～何気ない普段の授業に防災を取り入れよう～

【 中学部 全学年】

日時	6月 4日 (木) 2時間目
教科・単元名	生活単元学習・大雨から身を守ろう (ハザードマップで調べよう)
学習のねらい	・ 自宅やよく行く場所をハザードマップ等で調べ、災害時に起こりうる危険や対処法について考えることができる。
学習内容	○ハザードマップ(土砂、内水氾濫、外水氾濫)を使って、自宅やよく行く場所を調べる。 ○家族の緊急時避難場所やその位置をかくにんする。 ○ワークシートにまとめて発表する。
防災ワード	・ 大雨 ・ 浸水被害 ・ 避難
児童生徒の様子	・ 自宅の場所の色と、『地図の見方』の指標の色を見比べて、氾濫時の水深を記録した。『50cm』『1m』を廊下の壁にテープを貼って示すと、横に立って自分の体のどの位置まで浸水するかを、見て確認することができた。 ・ 『よく行く場所』では、デイで利用する施設を調べる生徒が多かった。 ・ 自宅の位置は大丈夫でも、よく行く場所や避難所に移動するまでの場所が浸水想定されている生徒もいた。「避難しない方がいいのかな」と考える様子が見られた。 ・ 避難場所までの距離や所要時間を調べて「歩いていくには遠い」と言っている生徒もいた。 ・ 「家(デイ)の近くに川はない」と言っていた生徒も、その建物から見えなかっただけで、地図で確認することで、川の存在に気付くことができた。
写真	  